

別冊

**「地域密着型金融推進計画」  
の進捗状況等**

株式会社 千葉銀行

## 【 目 次 】

A . 「地域密着型金融推進計画の進捗状況」	
. 全体的な進捗状況及びそれに対する評価等	・・・ P 1
. 「地域密着型金融推進計画」個別項目の取組み	・・・ P 3
. 経営改善支援の取組み	・・・ P 9
B . 「地域貢献に関する情報開示について」	・・・ P 1 2

## A. 地域密着型金融推進計画の進捗状況

### . 全体的な進捗状況及びそれに対する評価等

#### 1. 全体的な進捗状況

我が国の景気が拡大を続けるなか、当行が主要地盤とする千葉県経済につきましても、着実に回復の動きを続けております。このような環境のもと、当行は地域密着型金融推進計画（以下「推進計画」という。）で掲げた「2年間の重点強化期間」終了時点に目指す経営の姿である「地域の皆さまに最高の満足感と信頼感をお持ちいただける銀行」に向けて、以下2.「評価等」記載のとおり、地域経済活性化につながる各種施策や地域の利用者の利便性向上に向けた取組みを積極的に進めてまいりました。

#### 2. 大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題等

##### (1)事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた取組み

###### A.成果

各個別項目とも総じて実施スケジュールどおり進捗しており、数値的目標についても、計画に沿った達成状況となっています。平成18年度上期には、中小企業への円滑な資金供給を目的として、「県民が支える中小企業」のキャッチフレーズのもと、「第3回千葉県版CLO」を実施し、121億円の融資に取組むとともに、当該債権を証券化し32億円を投資信託として販売しました。なお、個別項目に係る具体的なポイントは以下のとおりです。

「創業・新事業支援機能等の強化」及び「取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化」では、ベンチャー企業向けの新ファンドの立ち上げ、さらには大学との産学連携の取組みを強化したほか、当行本店において「食」をテーマにビジネスフォーラムを開催いたしました。また、経営改善支援取組先487先のうち104先の債務者区分がランクアップし、不良債権比率も17年3月末比1.2ポイント低下し3.3%となりました。

「事業再生に向けた積極的取組み」では、お客さまに身近な営業店での再生支援を基本に、お取引先の実情に応じて個別・具体的な対応を進めましたほか、整理回収機構の活用など外部機関との連携を強化いたしました。

「担保・保証に過度に依存しない融資の推進等」では、信用リスクデータベースの整備・充実により、スコアリングを活用した商品の見直しを実施しました。また、私募債やシンジケートローンなどに積極的に取組みましたほか、新たに5,896先の中小企業等と融資取引を開始しました。

「顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化」及び「人材の育成」では、お客さまに説明責任を果たすことを重要な課題として掲げ、行内研修や各種会議において、お客さまへの説明事項等について周知徹底を図っています。あわせて、行

内研修の充実や外部研修への派遣等により、人材のレベルアップに努めています。

#### B. 今後の対応方針等

平成17・18年度を計画期間とする「地域密着型金融推進計画」も、平成18年度下期を残すのみとなりました。役職員一丸となり数値的目標を全項目達成するとともに、諸施策の実効性をさらに高め、目指す姿である「地域の皆さまに最高の満足感と信頼感をお持ちいただける銀行」を実現していきたいと考えています。

### (2) 経営力の強化に向けた取組み

#### A. 成果

平成19年3月期から適用されるバーゼル（新BIS規制）への準備を進め、リスク管理態勢の強化を図りましたほか、コンプライアンス態勢の整備・充実を進めています。なお、個別項目に係る具体的なポイントは以下のとおりです。

「リスク管理態勢の充実」、「収益管理態勢の整備と収益力の向上」及び「ガバナンスの強化」では、有価証券報告書に「代表者による確認書」を添付しましたほか、収益管理システムを活用して営業態勢の見直しを実施しました。

「法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化」では、平成18年度コンプライアンス・プログラムに則って各種施策を実施しましたほか、その徹底状況を監査等により検証しています。

「ITの戦略的活用」では、お客さまにタイムリーに金融商品・サービスが提供できるよう、CRMシステムの機能向上や新行内情報システムの導入などの対応を進めています。

#### B. 今後の対応方針等

今後とも、経営力の強化に向けた各種取組みを進め、健全性を高めるとともに、ITを戦略的に活用し、効果的かつ効率的な経営態勢の構築に努めてまいります。

### (3) 地域の利用者の利便性向上に向けた取組み

#### A. 成果

お客さま向けアンケートにより寄せられた声に対し、対応策を検討・実施しましたほか、全行的なCS向上キャンペーンなどをつうじ、お客さま満足度の向上に積極的に取組みました。また、当行の取組みを地域の利用者の皆さまに幅広くお知らせするため、さまざまな媒体をつうじて情報開示を進め、経営の透明性を高めました。

#### B. 今後の対応方針等

今後につきましても、お客さま向けアンケートの実施等により、お客さまの声を収集して、施策に反映させるなど、利用者の皆さまの満足度の高い経営に努めてまいります。

以上

。「地域密着型金融推進計画」個別項目の取組み

(ゴシック部分が数値目標です。)

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (平成17年4月～18年9月)
		平成17年度	平成18年度	
(1)創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>融資審査態勢の強化等</li> <li>業種別審査チェックポイント発刊</li> <li>業界調査レポート作成</li> <li>環境、医療・介護、アグリビジネス担当者の設置検討</li> <li>産学官の更なる連携強化や外部機関との連携強化等</li> <li>ベンチャー企業向け投融資の実施</li> <li>千葉大学等地元大学、中小企業支援センター等との産学官連携の仕組みの強化</li> <li>日本政策投資銀行、中小企業金融公庫との協調融資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業種別審査チェックポイント発刊、業界調査レポート作成</li> <li>ベンチャー企業向けファンドによる投資10件100百万円、ベンチャー企業向けローンによる融資20件600百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチャー企業向けファンドによる投資10件100百万円、ベンチャー企業向けローンによる融資20件600百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業種別分析のチェックポイントの発刊及び個別企業の調査レポート作成</li> <li>農林漁業金融公庫と「業務協力に関する覚書」を締結</li> <li>環境ファイナンスの一環として、食品残渣リサイクル施設向けに融資を実行</li> <li>ベンチャー企業向けファンドによる投資14件179百万円、ベンチャー企業向けローンによる融資32件901百万円</li> <li>千葉大学と「連携協力に関する協定書」を締結</li> <li>千葉大学のTLO事業に後援するとともに、千葉大学技術交流会の代表幹事に就任</li> <li>千葉県産業振興センターと「業務協力に関する覚書」を締結</li> </ul>
(2)取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>取引先企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の強化</li> <li>顧客ニーズ情報の収集、情報の一元管理、情報マッチング</li> <li>ビジネスフォーラム及び商談会の開催</li> <li>株式公開支援、M&amp;A支援</li> <li>中小企業診断士の育成、行内研修の充実</li> <li>要注意債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化</li> <li>お客さまに身近な営業店での経営改善支援の実施</li> <li>経営改善計画書の策定支援及び進捗管理の徹底</li> <li>再生手法の紹介等を含めたノウハウの共有化</li> <li>不良債権比率を3.5%程度まで引下げ</li> <li>ランクアップ先数等の公表(経営改善支援取組先のうち2割をランクアップ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチングニーズ登録200件</li> <li>ビジネスフォーラム年間2回、商談会年間6回の開催</li> <li>中小企業診断士資格取得のための外部研修へ2名派遣</li> <li>行内研修2回20名の実施</li> <li>本部・営業店間の定期的なミーティングの開催</li> <li>営業店への再生手法の紹介等ノウハウの共有</li> <li>ランクアップ先数等の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチングニーズ登録200件</li> <li>ビジネスフォーラム年間2回、商談会年間6回の開催</li> <li>中小企業診断士資格取得のための外部研修へ2名派遣</li> <li>行内研修2回20名の実施</li> <li>本部・営業店間の定期的なミーティングの開催</li> <li>営業店への再生手法の紹介等ノウハウの共有</li> <li>ランクアップ先数等の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチングニーズ登録268件</li> <li>「中国」、「IT経営革新」及び「食」をテーマとしてビジネスフォーラムを3回開催、中国・上海での商談会を含め商談会を23回開催</li> <li>中小企業診断士資格取得のための外部研修へ4名派遣</li> <li>行内研修を3回実施し49名が受講</li> <li>本部・営業店間のミーティングを開催し、再生支援活動の進捗管理及び再生ノウハウを共有化。また、審査部再生支援グループが臨店活動を実施し、管理体制及び個社別の取組方針等を指導</li> <li>不良債権比率が4.5%から3.3%まで低下</li> <li>経営改善支援取組先487先のうち104先がランクアップ(ランクアップ率21.3%)</li> <li>決算短信、ホームページ等をつうじて、ランクアップ先数、健全債権化の体制整備状況等を公表</li> </ul>
(3)事業再生に向けた積極的取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関の活用など多様な事業再生手法の一層の活用等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別案件に応じた経営改善支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別案件に応じた経営改善支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内ブロック幹事店に設置した地区法人営業部等を中心に取引先に身近な所で再生支援を実施</li> </ul>

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (平成17年4月～18年9月)
		平成17年度	平成18年度	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別案件に応じて、適切な再生手法を選択し、外部機関等を活用した事業再生への早期着手</li> <li>・整理回収機構及び中小企業再生支援協議会の活用</li> <li>・千葉県制度融資企業再生支援資金の活用など、再生企業に対する支援融資の実施</li> <li>・再生ノウハウの向上及び共有化のための行内研修の充実</li> <li>再生支援実績に関する情報開示の拡充</li> <li>・経営改善支援等の取組みによる成功事例の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理回収機構及び中小企業再生支援協議会の活用</li> <li>・再生支援のための研修3回30名、地銀協等の外部研修へ3名派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理回収機構及び中小企業再生支援協議会の活用</li> <li>・再生支援のための研修3回30名、地銀協等の外部研修へ4名派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理回収機構、千葉県中小企業再生支援協議会等の外部機関を活用した再生支援を実施</li> <li>・千葉県中小企業再生支援協議会の支援による再生計画策定完了先(18年9月末累計12先、別途計画策定支援中3先)に対して千葉県制度融資企業再生支援資金による融資を3件実施(18年9月末融資累計5件)</li> <li>・県内中小企業等の再生を図るため、「千葉中小企業再生ファンド」の設立に参加</li> <li>・シンジケートローンを組成し、エグジティブファイナンス(再生計画終了にあたっての融資)を実施</li> <li>・再生支援のための研修を6回実施し62名が受講、外部研修へ6名派遣</li> </ul>
(4)担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	<ul style="list-style-type: none"> <li>担保・保証に過度に依存しない融資の推進</li> <li>・無担保・第三者保証人不要商品の推進及び商品性の適宜見直し</li> <li>・信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用</li> <li>・包括根保証の新規取扱い廃止、既存の根保証契約についての適切な見直しの実施</li> <li>中小企業の資金調達手法の多様化等</li> <li>・千葉県版CLOの組成に向けた検討</li> <li>・地域の商工会議所・商工会・法人会と連携し、スコアリングを活用した商品を推進</li> <li>・個別案件に応じ、私募債・ノンリコースローン等の新たな金融手法を検討</li> <li>・中小企業等取引先の拡大(融資新規取引6千先を目標)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちばぎんビジネスローン等スコアリングを活用した商品の利用促進</li> <li>・CRITS(地銀共同システム)を活用した信用リスク量計測の精緻化</li> <li>・既存根保証先の確定保証等への切替と営業店勉強会の実施</li> <li>・第3回千葉県版CLOの組成に向けた準備</li> <li>・商工会議所・商工会・法人会と連携した金利優遇キャンペーンを実施</li> <li>・融資新規取引先目標3千先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちばぎんビジネスローン等スコアリングを活用した商品の利用促進</li> <li>・CRITS(地銀共同システム)を活用した信用リスク量計測の精緻化</li> <li>・既存根保証先の確定保証等への切替</li> <li>・第3回千葉県版CLOを実施予定</li> <li>・商工会議所・商工会・法人会と連携した金利優遇キャンペーンを実施</li> <li>・融資新規取引先目標3千先</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所・商工会・法人会の会員向けにスコアリングモデルを活用した「ビジネスローン」の金利優遇を制度化</li> <li>・CRITS(地銀共同システム)を活用し、格付モデルの精度向上を図るプロジェクトを開始</li> <li>・既存根保証先の確定保証等への切替と研修の実施</li> <li>・第3回千葉県版CLO実施(428先、融資実行額121億円、投資信託販売32億円)</li> <li>・銀行保証付私募債を積極的に推進(357先、493億円)</li> <li>・中小企業等融資新規取引先5,896先</li> </ul>
(5)顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明態勢の整備・充実等</li> <li>・各種研修・臨店指導等を通じた説明義務の周知徹底</li> <li>・苦情・相談事例の一元管理と営業店への還元</li> <li>・地域の中企業等のお取引先へのアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修での説明義務の周知徹底</li> <li>・苦情・相談事例の一元管理と営業店への還元</li> <li>・地域のお取引先へのアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修での説明義務の周知徹底</li> <li>・苦情・相談事例の一元管理と営業店への還元</li> <li>・地域のお取引先へのアンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別・業務別の各種研修においてコンプライアンス及び説明態勢について周知徹底</li> <li>・苦情・相談事例を一元管理し、事実経緯・問題点把握・対応方針を明確にしたうえで営業店に還元</li> <li>・地域のお取引先へのアンケートの実施</li> <li>・内部監査において法令等遵守を重点監査項目と位置付け、内部牽制機能を強化</li> </ul>

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (平成17年4月～18年9月)
		平成17年度	平成18年度	
(6)人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の強化・充実</li> <li>・中小企業診断士養成等のための外部研修への派遣</li> <li>・行内集合研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士資格取得のための外部研修へ2名派遣。その他外部研修に6名派遣</li> <li>・行内研修8回80名の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士資格取得のための外部研修へ2名派遣。その他外部研修に10名派遣</li> <li>・行内研修8回80名の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士資格取得のための外部研修へ4名派遣。その他外部研修12名派遣</li> <li>・行内研修を14回実施し、198名が受講</li> </ul>

## 2. 経営力の強化

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (平成17年4月～18年9月)
		平成17年度	平成18年度	
(1) リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーゼル（新BIS規制）の導入に向けた対応</li> <li>信用リスク管理態勢の整備・充実</li> <li>オペレーショナルリスクの対応準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールドテストの実施</li> <li>信用リスク管理指針の整備</li> <li>オペレーショナルリスク管理指針の整備</li> <li>信用リスクアセット計測システムの稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信用リスク・オペレーショナルリスクの適用手法の当局宛提出</li> <li>情報開示の拡充に係る適切な開示態勢の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17年3月末、9月末及び18年3月末基準の当局宛報告（フィールドテスト等）を実施</li> <li>信用リスクアセット計測システムの稼働とパーゼル基準によるリスク資本配賦を実施</li> <li>オペレーショナルリスクについて、規定類を制定・改定</li> </ul>
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>収益管理態勢の充実及び収益力の向上のための取組み</li> <li>収益管理システム等を活用した地域の実態にあわせた業務等の再構築</li> <li>信用リスクデータベースの整備・充実・活用</li> <li>格付・自己査定システムの稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実態にあわせた業務の再構築</li> <li>信用リスクデータを活用した金利設定の見直し</li> <li>格付・自己査定システムの稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実態にあわせた業務の再構築</li> <li>信用リスクデータを活用した金利設定の見直し</li> <li>格付・自己査定システムの整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収益管理システム等を活用し、地域の実態にあわせた営業店機能の見直しを実施</li> <li>C R I T S（地銀共同システム）を活用したデータベース登録を四半期毎に実施</li> <li>格付・自己査定システムの稼働と格付対象先の拡大</li> </ul>
(3) ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>有価証券報告書等への「代表者による確認書」の添付</li> <li>有価証券報告書等作成プロセス・チェック方法の文書化</li> <li>作成プロセス・チェック方法について内部監査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有価証券報告書等作成プロセス・チェック方法の文書化検討</li> <li>内部監査手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有価証券報告書・半期報告書への「代表者による確認書」の添付</li> <li>有価証券報告書等作成プロセス・チェック方法の文書化</li> <li>内部監査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有価証券報告書に「代表者による確認書」を添付</li> <li>内部統制体制の評価制度への対応準備として、内部統制プロジェクトチームを設置</li> </ul>
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス態勢の強化</li> <li>自己・コンプライアンス担当者によるコンプライアンス・チェックの実施</li> <li>各種会議、研修等でのコンプライアンス意識の徹底</li> <li>監査部による定期的な内部監査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己・コンプライアンス担当者によるコンプライアンス・チェックの実施</li> <li>コンプライアンス担当者会議等の実施</li> <li>監査部による内部監査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己・コンプライアンス担当者によるコンプライアンス・チェックの実施</li> <li>コンプライアンス担当者会議等の実施</li> <li>監査部による内部監査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己・コンプライアンス担当者によるコンプライアンス・チェックの実施</li> <li>コンプライアンス担当者会議・研修の実施</li> <li>監査部によるコンプライアンス徹底状況の検証</li> <li>営業店長による重要事項点検の実施</li> </ul>
適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護に向けた対応</li> <li>研修・勉強会・本部による臨店指導による個人情報保護意識の徹底</li> <li>各部・店に配置した情報管理責任者による点検の実施</li> <li>情報管理規定の改定による保存帳票の点検・廃棄確認手続きの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・勉強会・本部による臨店指導の実施</li> <li>情報管理責任者による点検</li> <li>保存帳票の点検ルール、保存期限到来時の廃棄確認手続きの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・勉強会・本部による臨店指導の実施</li> <li>情報管理責任者による点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修・勉強会・本部による臨店指導の実施</li> <li>情報管理責任者による四半期毎点検</li> <li>情報の重要度に応じた統一的尺度による保管・廃棄等を実施するため「情報重要物管理規定」を制定</li> <li>全業務委託先と個人情報管理に係る覚書を締結</li> </ul>



項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (平成17年4月～18年9月)
		平成17年度	平成18年度	
(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスモデル等の状況に応じたITの戦略的活用</li> <li>データのリアルタイム提供などCRMシステムの機能向上</li> <li>行内情報の整備・充実</li> <li>他システムとの連携等を視野に入れた開発等ルール策定</li> <li>定期的なIT投資効率の検証と検証結果を踏まえた見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CRMシステムの機能向上</li> <li>営業店LANを見直し「新行内情報インフラ」の導入検討</li> <li>他システムとの連携等を視野に入れた開発等ルールの検討</li> <li>IT投資効率の検証と検証結果を踏まえた見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CRMシステムの機能向上</li> <li>営業店LANを見直し「新行内情報インフラ」を順次導入</li> <li>他システムとの連携等を視野に入れた開発等ルールの検討</li> <li>IT投資効率の検証と検証結果を踏まえた見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CRMシステムの機能向上とデータウェアハウスの開発を実施</li> <li>「新行内情報インフラ」について試行を開始</li> <li>システム導入・維持についての提案依頼書作成ルールを制定</li> <li>IT投資効率の検証と進捗状況の確認・改善策の策定</li> </ul>

### 3. 地域の利用者の利便性向上

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況 (平成17年4月～18年9月)
		平成17年度	平成18年度	
(1) 地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報開示の充実</li> <li>ディスクロージャー誌、ホームページ等での積極的な情報開示</li> <li>利用者から問合せの多い事項をとりまとめた「Q &amp; A集」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクロージャー誌、ホームページ等での情報開示</li> <li>利用者から問合せの多い事項をとりまとめた「Q &amp; A集」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクロージャー誌、ホームページ等での情報開示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクロージャー誌、ホームページ等において地域貢献に関する情報を開示</li> <li>利用者から問合せの多い事項をとりまとめた「よくあるご質問」をホームページのトップ画面に掲載</li> <li>県内8地区で取引先向け決算説明会「ひまわり定期講演会」において当行の取組みを説明</li> </ul>
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さま満足度向上活動の実施</li> <li>利用者満足度アンケートの実施</li> <li>アンケート結果の営業施策等への反映</li> <li>アンケート結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度アンケートの実施</li> <li>アンケート結果の営業施策等への反映</li> <li>アンケート結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度アンケートの実施</li> <li>アンケート結果の営業施策等への反映</li> <li>アンケート結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CS向上キャンペーンを継続実施</li> <li>お客さま向けアンケートを実施・その結果を公表</li> <li>お客さま向けアンケート結果を踏まえ各種対応策を実施</li> </ul>
(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域再生推進のための各種施策の実施</li> <li>PFI案件のアレンジャー業務等積極的な関与</li> <li>地域開発動向の収集、有効活用提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI案件の取組み</li> <li>地域開発動向の収集、有効活用提案の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI案件の取組み</li> <li>地域開発動向の収集、有効活用提案の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFI案件に積極的に関与し、県内自治体へのサポート活動を実施</li> <li>地域の開発事業等の情報収集及び積極的関与</li> </ul>

・経営改善支援の取組み

1. 経営改善支援の取組み実績

当行は、再生可能な中小企業に対しては、適切な引当により資産の健全性を確保したうえで、各ブロックに設置した地区法人営業部や企業戦略支援担当が、お客さまとのリレーションシップを十分に確保したうえで、最適な事業再生手法の提案・策定等を行っております。このような活動により、経営改善支援の取組み状況は以下のとおりとなりました。

(1) 平成17～18年度上期実績(平成17年4月～18年9月)

(単位：先)

		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先	経営改善支援取組み先のうち期末に債務者区分が上昇した先	経営改善支援取組み先のうち期末に債務者区分が変化しなかった先
正 常 先		28,750	15		5
要 注 意 先	う ち そ の 他 要 注 意 先	9,407	358	67	267
	う ち 要 管 理 先	1,091	97	34	56
破 綻 懸 念 先		1,201	14	3	10
実 質 破 綻 先		368	2	0	2
破 綻 先		70	1	0	1
合 計		40,887	487	104	341

(注) 期初債務者数及び債務者区分は17年4月当初時点のものとなっています。なお、債務者数及び経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでいません。

(2) 平成18年度上期実績(平成18年4月～18年9月)

(単位：先)

		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先	経営改善支援取組み先のうち期末に債務者区分が上昇した先	経営改善支援取組み先のうち期末に債務者区分が変化しなかった先
正 常 先		28,295	0		0
要 注 意 先	う ち そ の 他 要 注 意 先	10,081	303	30	269
	う ち 要 管 理 先	703	54	10	42
破 綻 懸 念 先		937	10	1	8
実 質 破 綻 先		392	2	0	2
破 綻 先		68	1	0	1
合 計		40,476	370	41	322

(注) 期初債務者数及び債務者区分は18年4月当初時点のものとなっています。なお、債務者数及び経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでいません。

## 2. 経営改善支援に関する取組み方針等

### (1) 取組方針

これまでの長期的な取引関係により得られた情報を活用し、取引先との対面交渉を中心とした質の高いコミュニケーションを通じて、財務内容の実態や経営能力、事業の成長性等を的確に把握し、再生可能な企業については、適切な償却・引当により金融機関の健全性を確保しつつ、外部機関を積極的に活用するなど適切な経営改善支援ならびに事業再生支援を行ってまいります。

### (2) 体制整備の状況、具体的取組み策等

県内ブロック幹事店に設置した専門スキルを持つ地区法人営業部や企業戦略支援担当を中心に、取引先毎の実態に即した経営改善計画書の策定を支援するとともに、その後のキャッシュフローなどのモニタリングを通じた進捗管理を実施しています。

審査部再生支援グループは、地区法人営業部や企業戦略支援担当と定例的なミーティングを実施し進捗状況の管理・再生ノウハウの共有化を行うとともに、個社別の取組み方針等についての営業店指導を行っています。あわせて、整理回収機構や中小企業再生支援協議会等の外部機関を活用した大口メイン先の再生支援を直接行っています。

個別案件に応じ、再生企業に対する支援融資を実施しています。

再生支援に係る行内集合研修の実施や、外部研修への派遣、本部との定期的なミーティングなどにより、人材育成を進めています。

### (3) 平成17年4月～18年9月の進捗状況

経営改善支援取組先487先に対して、経営改善計画書の策定支援及び進捗管理を実施しました。その結果、17年4月から18年9月までに104先の債務者区分のランクアップが図れ、ランクアップ率は21.3%となりました。今後も引き続き、経営改善支援取組みを順次拡大し、債務者区分のランクアップを図っていきます。

個社の実情に応じて、整理回収機構、中小企業再生支援協議会等の外部機関を活用した再生支援を行い、整理回収機構の企業再編ファンドスキームを活用した再生支援を1件実施するとともに、当該先を対象としたシンジケートローンを組成し、エグジットファイナンス（再生計画終了にあたっての融資）を実施しました。また、中小企業再生支援協議会を積極的に活用した結果、平成18年9月末には、再生計画策定完了12先、計画策定支援中の先3先となりました。

県内中小企業等の再生を図るため、平成18年3月末に中小企業基盤整備機構等の出資が活用できる「千葉中小企業再生ファンド」の設立に参加しました。

決算短信、ホームページ等を通じて、健全債権化等の体制整備の状況、経営改善支援取組先数、経営改善によるランクアップ先数の公表を行いました。

### 3. 経営改善支援取組み事例

業 種	物品賃貸業
経 緯	過去に行った設備投資負担や業務管理の問題等から過剰債務を抱えており、抜本的な再建が必要となっておりました。
取組内容	中小企業再生支援協議会とともに策定支援した経営改善計画書及び整理回収機構の企業再編ファンドスキームに則り、シンジケートローンを組成しエグジットファイナンスを実行しました。
成 果	エグジットファイナンスにより、既存の借入金を返済し、財務内容の改善及び資金繰りの安定が図れました。

以 上

## B. 地域貢献に関する情報開示について

### 地域貢献に関する基本的考え方

当行は、千葉県を主要な地盤とする地域金融機関として、「金融サービスの提供を通じて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献する」という役割・使命を果たしています。今後ともこの姿勢を堅持し、当行グループ全社が一体となって、質の高い金融商品・サービスを提供するなど、お客さま満足度の向上につながる諸活動を展開してまいりますとともに、地域社会の発展に貢献してまいります。

### 1. 貸出金の状況

個人のお客さまのニーズに的確に対応した結果、住宅ローンを含む消費者ローン残高は前年同期比1,215億円増加し、2兆488億円となっています。

中小企業向け貸出金は前年同期比1,777億円増加し、2兆8,122億円となっています。また、今中間期につきましては、新たに2,093先の中小企業等との融資取引を開始しました。

#### (1) 県内向け貸出金の状況

平成18年9月末の県内貸出金残高は5兆228億円と、5兆円の台を越えました。

(単位：億円、%)

	18年9月末	18年3月末	17年9月末
国内貸出金	63,470	61,478	57,913
うち 県内	50,228	49,343	47,965
県内貸出金比率	79.13	80.26	82.82

#### (2) 中小企業向け貸出金の状況

県内中小企業向け貸出金は2兆4,045億円と、前年同期比732億円増加しています。

(単位：億円、%)

	18年9月末	18年3月末比		18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
中小企業向け貸出金	28,122	530	1,777	27,592	26,345
うち 県内	24,045	49	732	23,995	23,312
中小企業向け貸出金比率	44.30	0.57	1.18	44.88	45.49
うち県内中小企業向け貸出金比率	37.88	1.14	2.37	39.03	40.25
県内貸出に占める県内中小企業向け貸出金比率	47.87	0.75	0.73	48.62	48.60

(注) 中小企業には個人事業主向け貸出を含めています。

## (3)保証協会保証付貸出金の状況

保証協会保証付貸出金は3,791億円となり、千葉県信用保証協会保証債務残高シェアは48.8%と高いシェアを維持しています。

(単位：億円、%)

	18年9月末			18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
保証協会保証付貸出金	3,791	3	73	3,788	3,718
千葉県信用保証協会保証債務残高シェア	48.8	0.2	0.4	48.6	48.4

## (4)私募債・シンジケートローンの取扱い状況

今中間期には私募債154件を引受けたほか、シンジケートローンのアレンジャーを務める等、新たな資金供給の仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。

## (5)業種別貸出金の状況(18年9月末)

国内貸出金の32.68%、県内貸出金の40.43%が個人のお客さま向けの貸出金となっています。

(単位：億円、%)

	県内		国内	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
貸出金	50,228	100.0	63,470	100.0
製造業	2,890	5.76	4,787	7.54
農業	82	0.16	90	0.14
林業	0	0.00	0	0.00
漁業	16	0.03	16	0.03
鉱業	67	0.13	101	0.16
建設業	2,615	5.21	2,896	4.56
電気・ガス・熱供給・水道業	34	0.07	78	0.12
情報通信業	135	0.27	307	0.49
運輸業	1,151	2.29	1,809	2.85
卸売・小売業	4,527	9.01	5,746	9.05
金融・保険業	768	1.53	2,383	3.76
不動産業	11,344	22.59	14,197	22.37
各種サービス業	4,655	9.27	5,681	8.95
国・地方公共団体	1,631	3.25	4,631	7.30
その他(個人)	20,306	40.43	20,741	32.68

## (6)消費者ローン残高

住宅ローン残高は前年同期比 1,239 億円増加し、1 兆 9,270 億円となっています。

(単位：億円、%)

	18年9月末	18年3月末比		18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
消費者ローン残高	20,488	317	1,215	20,171	19,272
うち住宅ローン	19,270	342	1,239	18,927	18,031
うちその他ローン	1,218	25	23	1,244	1,241
消費者ローン比率	32.28	0.53	0.99	32.81	33.27
うち住宅ローン比率	30.36	0.42	0.77	30.78	31.13
うちその他ローン比率	1.91	0.10	0.22	2.02	2.14

## (7)県内消費者ローン残高

県内の住宅ローン残高は、前年同期比 1,204 億円増加し、1 兆 8,867 億円となっています。

(単位：億円、%)

	18年9月末	18年3月末比		18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
消費者ローン残高	20,053	308	1,180	19,744	18,872
うち住宅ローン	18,867	335	1,204	18,531	17,662
うちその他ローン	1,186	27	24	1,213	1,210
消費者ローン比率	31.59	0.52	0.99	32.11	32.58
うち住宅ローン比率	29.72	0.41	0.77	30.14	30.49
うちその他ローン比率	1.86	0.10	0.22	1.97	2.08
県内貸出に占める消費者ローン比率	39.92	0.09	0.57	40.01	39.34
うち住宅ローン比率	37.56	0.00	0.73	37.55	36.82
うちその他ローン比率	2.36	0.09	0.16	2.46	2.52

## (8)個人向け無担保ローンの取扱い状況

無担保ローンでは、教育ローン残高は、前年同期比 11 億円増加し、46 億円となっています。

(単位：億円)

	18年9月末	18年3月末	17年9月末
カードローン残高(注)	303	306	307
マイカーローン残高	63	63	65
教育ローン残高	46	40	35
リフォームローン残高	19	20	20
フリーローン残高	17	17	17

(注)カードローン残高につきましては、カードローン 20・30・50・70・100・150・200 の残高を掲載しています。



## (9) 県内個人向け無担保ローンの取扱い状況

(単位：億円)

	18年9月末	18年3月末	17年9月末
カードローン残高(注)	300	303	304
マイカーローン残高	62	62	64
教育ローン残高	45	40	34
リフォームローン残高	19	19	19
フリーローン残高	16	17	17

(注)カードローン残高につきましては、カードローン 20・30・50・70・100・150・200 の残高を掲載しています。

## (10) コンサルティングプラザ・ローンプラザの設置状況

コンサルティングプラザ、ローンプラザでは、土・日・祝日でも住宅ローン等に関する相談・申込・契約が可能です。

プラザ名	設置場所	営業時間
ちばぎんコンサルティング・プラザ (千葉中央ローンプラザ)	千葉市中央区富士見 2-3-1 (塚本大千葉ビル 1・2 階) TEL043-227-5211	平日 9 時～19 時 土・日・祝日 10 時～17 時
幕張ローンプラザ	千葉市美浜区中瀬 2-6 千葉銀行幕張新都心支店内 (ワルトビジネスガーデン・マリファネックス2 階) TEL043-351-0131	平日 10 時～18 時 土・日・祝日 10 時～17 時
柏ローンプラザ	柏市柏 1-1-21 柏そごう 2 階 TEL04-7163-7111	平日 10 時～18 時 土・日・祝日 10 時～17 時

## 2. 預金・ネットワーク等の状況

個人預金残高は前年同期比1,906億円増加し、5兆9,513億円となりました。給与振込口座は82万9千件、年金振込口座は34万1千件と、117万人のお客さまに暮らしのメインバンクとしてご利用いただいております。

お客さまへの最適なポートフォリオ提案を進めました結果、地方銀行としては初めて投資信託の残高が5千億円を超えました。

お客さまにより一層幅広く金融サービスを提供していくため、銀行本体で信託業務に参入し、遺言信託及び遺産整理業務等の相続関連業務を開始しました。

### (1) 預金の状況

当行の預金の96.52%は千葉県内の預金であり、また、県内の個人預金が74.96%を占めております。

(単位：億円、%)

	18年9月末	18年3月末比	17年9月末比	18年3月末	17年9月末
国内預金	78,152	161	2,185	77,990	75,966
うち県内	75,435	244	1,659	75,680	73,776
個人預金	59,513	686	1,906	58,827	57,606
うち県内	58,590	656	1,859	57,933	56,730
県内預金比率	96.52	0.51	0.59	97.03	97.11
個人預金比率	76.15	0.72	0.31	75.42	75.83
県内個人預金比率	74.96	0.68	0.29	74.28	74.67

### (2) 投資型金融商品の状況

個人のお客さまの投資信託・公共債・外貨預金の合計残高は、前年同期比989億円増加し、7,248億円となっています。

(単位：億円)

	18年9月末	18年3月末比	17年9月末比	18年3月末	17年9月末
投資信託残高	5,102	661	987	4,441	4,114
うち県内	5,042	653	978	4,388	4,064
うち個人	5,017	660	987	4,357	4,030
うち県内	4,961	654	978	4,307	3,983
うち株式投資信託	4,904	653	1,055	4,250	3,849
うち県内	4,847	646	1,044	4,200	3,802
個人公共債残高	1,739	64	198	1,674	1,540
うち県内	1,725	62	193	1,662	1,532
個人外貨預金残高	492	52	195	545	688
うち県内	471	52	192	524	664
個人年金保険等(取扱保険料)	307	37	75	344	383

## (3) 給与振込・年金振込口座の状況

117万人のお客さまに“暮らしのメインバンク”としてご利用いただいています。また、年金受給年齢に到達されるお客さまの各種ご相談にお応えする「ひまわり年金教室」や「マネープラン講座」を、今中間期に351回開催し、3千名のお客さまにご参加いただきました。

なお、お客さまに安心・安全にお取引いただくため、生体認証技術を用いて本人確認を行う「生体認証対応ICキャッシュカード」を発行いたしました。

(単位：千件)

	18年9月末	18年3月末比		18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
給与振込口座	829	14	15	814	813
うち 県内	822	14	15	807	806
年金振込口座	341	6	13	334	328
うち 県内	339	6	12	332	326

お客さまの豊かなシルバーライフにお役立ていただくため、確定拠出年金や財形年金預金の取扱いも行っています。

## (4) 店舗の状況

千葉県内では「成田空港第三出張所」及び「柏の葉キャンパス支店」を、東京都では「北千住法人営業所」、「東陽町法人営業所」及び「葛西支店」を新設し、お客さまの利便性向上に努めました。

(単位：所)

	18年9月末	18年3月末比		18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
国内店舗数	164	4	5	160	159
うち 県内	151	1	1	150	150
海外拠点数	4			4	4
うち 支店	3			3	3
店舗外現金自動設備	18,194	428	1,689	17,766	16,505
うち 県内	1,507	17	74	1,490	1,433
うち当行店舗外現金自動設備	256	3	7	253	249
うち 県内	253	3	6	250	247
うちコンビニATM「E-net」	6,419	211	597	6,208	5,822
うち 県内	502	16	57	486	445
うちセブン銀行との共同ATM	11,519	214	1,085	11,305	10,434
うち 県内	752	2	11	754	741

コンビニATM「E-net」及びセブン銀行との共同ATMは24時間対応(一部休止日・休止時間を除く)のATMです。

この他に成田空港内に両替出張所が3拠点あります。

## (5)ダイレクトチャネルの取扱い状況

(単位：千件)

	18年9月末	18年9月末比		18年3月末	17年9月末
		18年3月末比	17年9月末比		
テレフォンバンキング契約件数	601	3	36	598	565
インターネットバンキング契約件数	69	1	7	68	61
モバイルバンキング契約件数	42	1	1	43	41

テレフォンバンキング、インターネットバンキング、モバイルバンキングとも24時間365日対応(一部休止日・休止時間を除く)しています。

## (6)ちばぎんグループによる総合金融サービスの提供状況

会社名	主な業務内容	住所・電話番号
中央証券株式会社	証券業務(個人・法人のお客さまに対し、株式・債券の売買等を行っています。)	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-3 TEL: 03-3660-4700
ちばぎんリース株式会社	リース業務(お客さまの車輛・機械等のリースニーズにお応えしています。)	〒262-0025 千葉市花見川区花園2-1-22 TEL: 043-275-8001
ちばぎんデビットカード株式会社	クレジットカード業務(自社発行クレジットカードに関する各種取扱いや当行の発行するクレジットカードの保証業務等を行っています。)	〒260-0015 千葉市中央区富士見1-14-11 TEL: 043-225-2611
ちばぎんデビットカード株式会社	クレジットカード業務(自社発行クレジットカードに関する各種取扱いや当行の発行するクレジットカードの保証業務等を行っています。)	〒260-0015 千葉市中央区富士見1-14-11 TEL: 043-225-8411
ちばぎんコンピュータサービス株式会社	ソフトウェア等の開発販売業務、計算受託業務(お客さまのITニーズにお応えしています。)	〒266-0032 千葉市緑区おゆみ野中央6-12 TEL: 043-292-8881
ちばぎんキャピタル株式会社	株式公開・上場などに関するコンサルティング業務(ベンチャー企業への投資やコンサルティング等を行っています。)	〒260-0026 千葉市中央区千葉港8-4 日本興亜千葉ビル2階 TEL: 043-248-8822
ちばぎんアセットマネジメント株式会社	投資顧問業務(お客さまに最適な資産運用のアドバイスをしています。)	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-3 TEL: 03-3241-8021
株式会社ちばぎん総合研究所	情報・調査業務、コンサルティング業務(お客さまのビジネスパートナーとして、経営コンサルティング等さまざまなアドバイスをしています。)	〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-3-12 TEL: 043-207-0621

### 3. 千葉県経済活性化への取組み

千葉県経済の健全な発展と活性化に寄与することを目的に、ベンチャー企業向けの投資・融資、外部機関との連携、ベンチャー育成基金による助成などを通じ、ベンチャー企業の支援・育成に積極的に取り組んでいます。

平成18年7月に「食」をテーマとして「ビジネスフォーラム」を開催しました。また、今中間期には「商談会」を7回開催しています。

#### (1)ベンチャー企業向けローンの取扱い状況

(単位：百万円)

	18年中間期	17年度	17年中間期
取扱い件数	10件	22件	13件
取扱い金額	90	811	558

年間取扱い20件600百万円を目標としています。

#### (2)当行が出資・出捐を行うベンチャー育成基金等の投資・助成状況

	18年中間期	17年度	17年中間期
グループ会社「ちばぎんキャピタル株式会社」が管理・運営する投資事業有限責任組合の投資実績( )	5件75百万円	9件104百万円	3件20百万円
財団法人ひまわりベンチャー育成基金による助成金交付実績	5件15百万円	10件30百万円	5件15百万円

年間取扱い10件100百万円を目標としています。

#### (3)地方公共団体との取引状況

当行は、千葉県及び県内45市町村(県内市町村数は56)の指定金融機関を努めております。また、地方公共団体と連携し制度融資の取扱いを行うなど、地域経済活性化に向けた各種取組みを行っています。

#### (4)ビジネスマッチングの取組み

当行は、お取引先企業の業績向上につながる高度かつ多様な提案活動を推し進めています。特に、ビジネスマッチングの取組みとして、お取引先企業の売上向上につながる新たな販売先の拡大を目指した「ビジネスフォーラム」や「商談会」を開催いたしました。

#### (ご参考) ビジネスマッチングの取組み事例

##### 「ちばぎんビジネスフォーラム」の開催

・平成18年7月には「食」をテーマに「ちばぎんビジネスフォーラム」を当行本店にて開催したところ、137社のご来場があり、数多くの商談が成約しました。

#### (5)PFIの取組み

当行は、地方公共団体や他金融機関と連携しPFI(民間資金による社会資本整備)案件に積極的に取り組んでいます。

## 4. 地域貢献活動

さまざまな文化活動やスポーツ大会への協賛などをつうじて、地域社会の充実や豊かな社会づくりに積極的に取り組んでいます。

### (1)文化活動

#### ちばぎんひまわりコンサート

- ・ 毎回、多彩なアーティストをお迎えして県内各地で開催しています。今後も、さまざまなジャンルの音楽をとおして、地域の皆さまとのふれあいの場をお届けしてまいります。

#### ちばぎんアートギャラリー

- ・ 千葉県出身・在住作家の新作・研究発表の場として、日本画、洋画、彫刻、工芸などの優れた作品を「ちばぎんアートギャラリー」（ちばぎん日本橋ビル2階）に展示しています。開設以来、延べ展示回数は367回を数え、約12万7千人のお客さまにご来場いただいています。

### (2)スポーツ支援活動

#### 千葉県少年野球大会及び千葉県ユース（U-15）サッカー選手権大会への協賛

- ・ 健全な青少年の育成と、地域社会のスポーツ振興を目的に、「千葉県少年野球大会」と「千葉県ユース（U-15）サッカー選手権大会」に協賛しています。

### (3)福祉支援活動

#### 財団法人千葉県福祉財団

- ・ 当行の創立10周年記念事業のひとつとして設立した同財団は、社会福祉事業に対する資金の貸付などとおして、各種厚生事業の発展助成や県民福祉の向上に寄与しています。

#### バリアフリーへの取り組み

- ・ 店舗の新築・改修に際しては、「ハートビル法」、「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、段差のスロープ化や点字タイルの使用等バリアフリーを考慮した対応を行っています。

### (4)教育支援活動

#### 教員の民間企業研修の受け入れ

- ・ 財団法人経済広報センターが主催する「教員の民間企業研修」の受入先企業となり、市川市の4人の小・中学校の先生に、銀行業務についての学習や接客実習などさまざまな体験をしていただきました。

#### フィルムライブラリー

- ・ 当行の窓口をとおして保育園、幼稚園等にアニメーション・歴史・地理等の16ミリフィルムを無料で貸出しています。

### (5)緑化活動等

#### 緑を育てる活動

- ・ 富津市鬼泪山（きなだやま）の「ちばぎんの森」の下草刈りを実施し、緑を育てる活動を実施しました。

#### 海岸清掃等

- ・ 九十九里浜をはじめ県内各地の海岸の清掃を行うなど、地域の環境美化、自然保護活動を推進いたしました。